

オーキッドに入社して

【はじめに】

チームBee 研究メンバー

熊谷 俊太郎、真下 裕章、近藤 舞優、
藤原 千騎、村山 璃晟、山下 真理、
宮川 ひとみ、木下 史絵、齊藤 信子、河原 龍樹

新しい職場で仕事を始めると、様々な感想や考えが浮かんでくるものです。

今回は、私も含め新人の時に仕事を始めた際、感じたこと、その中で浮かんだ事を振り返り、
何をお伝えできるかを考え、資料を作りました。

同様の立場にいる方々や、将来同じような経験をするかもしれない方々にとって参考になる
情報を提供できれば幸いです。



【アンケート】

このお題を始めるにあたり、同じチームで働いているスタッフにアンケートをとりました。

それは入社をしてから各自に立ち回り自分を見つめなおす時間をとって欲しかったからです。

項目は以下の通りです。

- ① どうしてこの会社を選ばれましたか
- ② オーキッドに入社してどう感じましたか
- ③ 入社して困ったこと、改善して欲しいこと
- ④ 今後のこうしていきたいや展望をお書きください

【集計・まとめ】

① どうしてこの会社を選ばれましたか

「紹介による入社」が一番多く、次に「会社や代表の雰囲気が良い」。また「条件が合う」という方も少数おられました。

どの方も根本には福祉の仕事に興味もしくはやりがいを感じておられるようでした。

② オーキッドに入社してどう感じましたか

「事業所の違いや仕事の内容に不安があったが、先輩のフォローで楽しんで仕事が出来ている」との回答が多く、中には「利用者様が喜んでくださるのが嬉しい」との回答もありました。

③入社して困ったこと、改善して欲しいこと

【嬉しかったこと】

「利用者様に喜んでもらった・褒めてもらった」との回答が多く、次いで「スタッフが良い」等の職場環境面を答えている方がいました。

【困ったこと】

「先輩によって教え方やニュアンスが違う」等のOJTに関することが多く、後は「天候」や「道がわからなかった」等の実働に関する答えがありました。

④入社して良かったと思えたこと、嬉しかったこと

「スキルアップや資格を取る」、「利用者様に充実した支援をしたい」等の
答えで揃っておりました。

このアンケートを通じて、入社した理由は人それぞれではあるものの、
環境面や不安・不慣れなことを乗り越え、利用者様の為に
向上心をもって仕事に取り組んでいることが読み取れました。

【気付き】

【チームワークの重要性】

新人として入社した最初の数週間は、周囲の先輩や同僚との連携をすることに気づけず、

日々の仕事の進め方や会社内のルールに慣れるために一生懸命になってしまいます。

積極的に質問をして、アドバイスを仰ぐこともありますが、利用者様によって対応が違うため

柔軟に対応する必要があり、新人では判断が難しいことが多いです。

積極的にチームに貢献することが重要で、仕事の効率性が向上し、成果を上げることができるの

は分かりますが、どのようにすれば効果的なコミュニケーションチームワークを発揮すること

ができるのでしょうか？

【自己成長のための挑戦】

我々の仕事は、一日や一週間の積み重ねだけでなく、長期的に努力を持続させることが必要です。

最初に感じる疲れや孤独感は、自分の目標や会社のビジョン、仲間との連携を意識し

モチベーションを保ちながらコツコツと日々の業務に取り組むことで仕事や知識、スキルを獲得していくこと、また、挑戦を受け入れることで、自信をつけ、克服することができるでしょう。

そして、初めての経験や責任を背負いながらも、自分自身を厳しく責めず、反省し、改善策を見つけて次回に活かし、それを乗り越えることで成長をすることができます。

自己成長のためには、忍耐力や柔軟性が必要です。

【失敗からの学び】

新人として仕事を始めた当初は、ミスをすることで自己批判的になり、自信を失うこともあります。

ミスや失敗を恐れる傾向ができ、報告も減り、負のスパイラルに落ち入りやすくなります。

過去の失敗や誤りから学び、上司や先輩からのフィードバックを受け入れる姿勢も重要です。

それを次に活かすことで、より良い成果を生み出すことができます。

自身の成長のために、過ちを恐れずに取り組む姿勢を持つことが必要です。

ここでは【チームワークの重要性】、【自己成長のための挑戦】、【失敗からの学び】

で出た疑問を解決に導くための方法の一例をあげたいと思います。

アサーティブ〔自分と相手を大切にすゑ表現方法〕

介護の現場は、利用者様だけではなく、同僚や上司など人と接する機会が多い職場です。

そこで、コミュニケーションスキルを磨くことにより、人間関係を円滑にすることができます。

自分と相手を大切にすゑ表現技法を身につけ、コミュニケーション力向上に役立てましょう。

自己表現には大きく3つのタイプがあります。

- ・アグレッシブ（攻撃的）

相手の気持ちを考えず、自分だけの考え、主張を通すことです。

- ・ノンアサーティブ（非主張的）

自分より相手を優先し、自分の気持ちとは裏腹に相手ばかりを尊重することです。

- ・アサーティブ

自分、相手ともに気持ちを大切にし、自他ともに肯定することです。

当然のことながら、3タイプのうち、アサーティブなコミュニケーションが
いちばん双方にとってメリットがあります。

アサーティブなコミュニケーションにより、相手への配慮も出来、

自分の意見も伝えることができ、仕事をよりスムーズに効率的にすすめられるようになります。

それでは、アサーティブなコミュニケーションはどのように行ったらよいのでしょうか。

その方法の一つに DESC 法があります。

ここでは、アサーティブに役立つ「DESC法」に関してみていきましょう。

Describe（描写）、Express（説明）、Specify（提案）、Choose（選択）

の頭文字をとったものがDESC法です。

「事実を描写する→自分の気持ちを説明する→提案をする→選択肢を示す」

DESC法を用いることにより、相手を尊重しながらも自分の主張も行えます。

アサーティブに相手に気持ちや意見を伝えるときに役立つのがDESC法です。

1. Describe (状況を客観的に描写する)

まず状況を客観的に説明します。

2. Express (説明する)

自分の気持ちを感情的にならずに表現する。相手の気持ちに共感します。

3. Specify (提案をする)

妥協案や解決策など具体的な提案を行います。

4. Choose (選択する)

相手の同意が得られた時、得られなかった時、次にどうするか選択肢を示します。

例えば、既に仕事が手一杯な時に上司から「この仕事もやっておいてね」

と言われた時を考えてみましょう。

あなたならどのように伝えますか？こんなふうに伝えていませんか？

「できません」

「わかりました・・・」（本当はできないけどそう言うしかないと思って）



DESC 法を用いた場合

1. 描写（事実を客観的に描写します）

申し訳ございません。今日中に終わらせなければならない A と B の作業があります。

2. 説明（自分の気持ちを説明します）

もしその作業をするとなると A と B の作業が終わらずに、仕事が滞ってしまいそうで不安です。

3. 提案（解決策などを提案する）

その作業は今日中に終わらせなければならない作業でしょうか。

明日、作業してもよろしいでしょうか。

4. 選択

提案したことに対して、相手が YES の場合、NO の場合を想定した選択肢を用意する

YES：それでは、明日までお願いね

NO：今日終わらせなければならぬんだよ

提案に対して、NO の場合は代替案を提示しましょう。

例えば、「その仕事でしたらAさんでもできると思うのでAさんに

お願いするのはどうでしょうか」のように、代替案を具体的に提示しましょう。

いかがでしたでしょうか。

これは、練習をしていくことにより身につけていきます。

その人ヘルパーを知ると言うことは支援に入っている利用者さんを知ると言うこと。

ヘルパーの考え方や性格を考えることで伝達事項や共有事項の捉え方が

変わってくると思います。

コミュニケーションをとる上で活用してみませんか。

